

市町名 三島市

地域学校協働本部	
放課後子供教室	
家庭教育支援	
土曜日の教育活動	○
しずおか寺子屋	
その他（通学合宿等）	



実施開始年度 平成 20 年度

大学生ボランティアと山田川自然の里での探検活動

活動名	みしまっ子体験塾			
実施箇所名	三島市民生涯学習センターほか市内各所			
活動の概要・特徴・工夫	目的	郷土への親しみ、協調性や積極性を持つ青少年の育成		
	開催日数等	年6回	実施場所	市民生涯学習センターほか
	参加児童・生徒数	29人	ボランティア数	各回4人以上
	<概要・特徴> 市内小学4～6年生を対象に、郷土に親しみを持たせ、学校や学年の異なる集団活動の中で、仲間づくりや継続して諸活動へ参加する意欲を高めさせることを目的として、土曜日又は日曜日に三島の歴史、環境、食などの資源を生かしたさまざまな体験型講座を行っている。			
	<活動上の工夫> ・安全に事業を実施するため、平成30年度から日本大学大学生の協力を得て、子どもの活動補助及び見守りに当たってもらっている。ボランティアと事務局との講座前後のミーティング等を通して、安全確保のための意識統一や子どもに寄り添う姿勢の充実を図っている。			
	連携先	日本大学国際関係学部 公認学生団体『KOMPIS』		
活動の成果	・子どもたちからは、「三島についていろいろと知ることができた」という声も聞かれ、郷土への関心を高められている。 ・学校や学年の異なる友達ができたという声も多くあり、子どもたちは積極性を身につけ仲間づくりをできている。			
課題等	・プログラムの企画運営及び当日活動指導を行っていた社会教育団体が平成29年度で活動を休止したため、翌年度からは日本大学大学生に当日の活動補助を依頼している。子どもの活動補助・指導及び研修を企画する人材の確保が課題であるため、『KOMPIS』との情報交換を続け、団体内での協力体制の引き継ぎ及び強化を促し、研修の企画へも協力してもらうなど、『KOMPIS』により主体的に活動してもらえる体制を築く。			
備考				
参考URL				

市町名 三島市

地域学校協働本部	
放課後子供教室	
家庭教育支援	
土曜日の教育活動	○
しずおか寺子屋	
その他（通学合宿等）	



実施開始年度 平成 17 年度

科学の発明くふうを楽しむ

活動名	三島市少年少女発明クラブ			
実施箇所名	三島市民生涯学習センター			
活動の概要・特徴・工夫	目的	科学技術への興味関心、創造性豊かな人間形成		
	開催日数等	年20回	実施場所	市民生涯学習センター
	参加児童・生徒数	52人	ボランティア数	各回15人程度
	<概要・特徴> 市内小学4～6年生を対象に科学技術に関する興味、関心を追及できる場を提供し、科学的で独創的な発想に基づく創作活動を通して、発明くふうの楽しさと創作する喜びを体得させることにより、創造性豊かな人間形成を図ることを目的としている。			
	<活動上の工夫> ・安全に事業を実施するため、技術指導員の他に保護者ボランティアを募り、子どもの活動補助及び見守りに当たってもらっている。 ・定期講座の他に、近隣工場の見学や、科学館等への野外学習、夏休み特別講座等を実施している。			
	連携先	三島市少年少女発明クラブ実行委員会		
活動の成果	・子どもたちからは、「科学や技術について関心を持つことができた」という声も聞かれ、科学技術への興味関心を高められている。 ・クラブを卒業後、科学技術大会等で入賞する者や、工業高等専門学校に進学する者もあり、発明クラブでの経験が進路に関わっていると見受けられる。			
課題等	・技術指導に当たっている指導員の高齢化が進んでおり、指導者の人材確保が課題となっている。 ・予算の確保が課題となっている。			
備考				
参考URL				

市町名 富士市

地域学校協働本部	
放課後子供教室	
家庭教育支援	
土曜日の教育活動	○
しずおか寺子屋	
その他（通学合宿等）	



実施開始年度 平成 9 年度

須津川溪谷にて自然観察

活動名	トムソーヤの冒険			
実施箇所名	須津まちづくりセンター			
活動の概要・特徴・工夫	目的	地区の特色を生かした体験学習および異学年同士の交流		
	開催日数等	月1回、年8回程度	実施場所	主に須津まちづくりセンター
	参加児童・生徒数	49人	ボランティア数	約10人
	<概要・特徴> 小学校3～6年生が、須津地区の特色を生かした体験学習を行うことで、郷土に関心を持つと共に、遊びを通じた異学年同士の交流や、学校ではできない仲間づくりを経験する活動である。 自然観察や勾玉作りなど、毎回異なるテーマの体験学習を行っている。また、地区団体の協力もあり、実施している。			
	<活動上の工夫> ・須津川溪谷といった地区特有の自然を観察対象にすることで、郷土に興味を持ってもらう。 ・異学年交流を深められるように、班分けには学年別の人数が、均等に分かれるようにしている。			
	連携先	須津地区まちづくり協議会、富士自然観察の会、須津ジュニアリーダー等		
活動の成果	・学習テーマに地区の自然や歴史（須津川溪谷や古墳群）を取り入れることで、郷土への興味・関心を持つ機会となっている。 ・集団でのスポーツや料理教室に取り組むことで、普段は共に行動しない異学年との積極的交流や、社交性を身につける良いきっかけとなっている。			
課題等	・毎年、受講生の反応は好評であり、翌年度も受講を申し込むリピーターが多い。申し込み児童の数が多く、進行やサポートを行う職員の数が少ないため、地区団体やボランティアとの連携が今後ますます必要となってくる。			
備考				
参考URL				

市町名 御殿場市

地域学校協働本部	
放課後子供教室	
家庭教育支援	
土曜日の教育活動	○
しずおか寺子屋	
その他（通学合宿等）	



実施開始年度 平成 24 年度

異学年の子ども達が学習している様子

活動名	学習教室 “ひがし”			
実施箇所名	御殿場地区コミュニティ共用施設			
	目的	休日の子ども達の居場所づくり		
	開催日数等	年26回程度	実施場所	地域コミュニティ施設
	参加児童・生徒数	16人	ボランティア数	4人
	<概要・特徴> ・休日に異学年の子ども達の学習を支援している。 ・学習習慣を身に付けたい子どもを対象に、学習ドリル等によりボランティアが学習を支援し、終了後は子ども達同士でオセロ等のゲームをする。			
	<活動上の工夫> ・土曜教育支援員（3名）の他、地元在住の大学生（1名）がボランティアとして参加している。 ・子ども達同士の相性を考慮しながら、活動日ごとに座席配置を変更している。 ・会場までは、保護者の送迎を義務付けている。			
	連携先	御殿場区、御殿場市立東小学校		
活動の成果	・異学年が同じ場所で勉強するので、上級生が下級生の勉強を見てくれることもあり、子ども達同士のコミュニケーションが図られている。 ・「学校よりもこの教室は楽しい」と言う児童もいるので、子ども達の居場所づくりとしても成果が出ている。 ・「休日に短時間でも勉強を見てくれるのでありがたい」という保護者の感想をいただいている。			
課題等	・土曜日は他の習い事もあるせいか、参加者が少しずつ減少している。 ・ボランティアの学生が今年度で大学を卒業するので、新たなボランティアがいれば受け入れたいが、なかなか見つからない。			
備考				
参考URL				

市町名 函南町

地域学校協働本部	
放課後子供教室	
家庭教育支援	
土曜日の教育活動	○
しずおか寺子屋	
その他（通学合宿等）	

実施開始年度



流木アートに挑戦する子どもたち

活動名	わいわい塾ものづくり教室			
実施箇所名	函南町文化センター			
活動の概要・特徴・工夫	目的	青少年の居場所づくり、地域との交流		
	開催日数等	10日	実施場所	函南町文化センター
	参加児童・生徒数	30人	ボランティア数	8人
	＜概要・特徴＞ 年に10回町内在住の小学4～6年生を対象にもの作りを主とした体験活動を実施しており、切り絵、流木アート、トールペイントやお正月の門松づくりなどを体験している。			
	＜活動上の工夫＞ ・子どもたちにとって魅力的なものとなるよう、1回ごとに異なる内容で実施している。 ・毎回内容に合わせた地域のボランティア講師に依頼し、「地域で子供を育てる」場となるように取り組んでいる。			
	連携先	ボランティア団体		
活動の成果	・家庭または学校以外での子どもたちの安全な居場所づくりをすることができた。 ・子どもの体験活動を通して、地域の方との交流を深めることができた。 ・学区を超えた地域の子どもたち同士が交流する機会を作ることができた。			
課題等	・教室の内容についてアイデアを出し合うのに苦労する。また、希望する内容があったとしても講師が見つからない場合がある。			
備考				
参考URL				

市町名 菊川市

地域学校協働本部	
放課後子供教室	
家庭教育支援	
土曜日の教育活動	○
しずおか寺子屋	
その他（通学合宿等）	



実施開始年度 平成 26 年度

「英語でふれる外国文化」の様子

活動名	土曜英語学習			
実施箇所名	菊川市全小中学校			
活動の概要・特徴・工夫	目的	発展的な英語学習支援、地域の人材育成		
	開催日数等	年間5～10回	実施場所	菊川市中央公民館
	参加児童・生徒数	約80人	ボランティア数	8人
	<p>＜概要・特徴＞</p> <p>土曜日に英語の学習を行っている。小学生は英語検定受験に向けて、中学生は普段学校で行っている英語授業の発展的な内容を学習している。</p> <p>＜活動上の工夫＞</p> <ul style="list-style-type: none">・グループに分けて指導を行うことにより、子供一人一人に手厚く指導することができた。・中学講座では季節に応じた活動を取り入れることで、外国の文化に触れることができた。			
	連携先	菊川市教育委員会学校教育課		
活動の成果	<ul style="list-style-type: none">・小学校では英検5級合格という目標をもって学習することで、集中して学習に取り組み、英語への自信をつけた。・中学校では、様々な学年・学校の生徒とのふれあいの場となるとともに、積極的に英語を話そうとする態度が養われた。			
課題等	<ul style="list-style-type: none">・土曜日に行うため、ボランティアの人数確保が難しい。			
備考				
参考URL				

市町名 牧之原市

地域学校協働本部	
放課後子供教室	
家庭教育支援	
土曜日の教育活動	○
しずおか寺子屋	
その他（通学合宿等）	



田植えに挑戦する児童

実施開始年度 平成 16 年度

活動名	勝間田塾			
実施箇所名	勝間田塾（静岡県牧之原市勝田1483番地1）			
活動の概要・特徴・工夫	目的	地域の大人とのふれ合いの中で、子どもに家庭や学校生活では得られない貴重な体験をしてもらう場を提供する。		
	開催日数等	12日間	実施場所	勝間田塾周辺
	参加児童・生徒数	18人	ボランティア数	14人
	<概要・特徴> 小学校1～6年生までの全学年の親子15組で、休耕田を利用した田植え、草取り、門松作り、餅つき、どんど焼き等一連の活動を行った。地域の方々の指導やアドバイスのもと田植えから稲刈りまでの約100日間にわたり、大変内容の濃い活動となった。			
	<活動上の工夫> 化学肥料、農薬、除草剤等を使用しない米作りを実施した。田植え開始時と餅つきの時に神事を行い、自然の恵みや多くの人との関わりに感謝をした。 毎年、市内中学校からボランティアの生徒の参加を募っている。			
	連携先	勝間田塾（TEL：0548-28-0063）		
活動の成果	<ul style="list-style-type: none">・自らの手で植えた稲には愛着が強く、休日に成長した様子を親子で見に来ている。・田植え時に、素足で田に入り活動した。土の感触は楽しい体験となった。・稲の成長記録（分株、穂の出方）を日を決めて観察し、それを自由研究にする等、子どもたちが意欲的になった。			
課題等	<ul style="list-style-type: none">・活動準備に時間がかかる。・野外活動が主となるため、天候に左右される場合がある。			
備考	上記ボランティア数内訳（大人6名、中学生ボランティア8名）			
参考URL				